

82年度
第2期 7月-9月
テーマ 仲間意識

8月は「病氣」を
通して考える

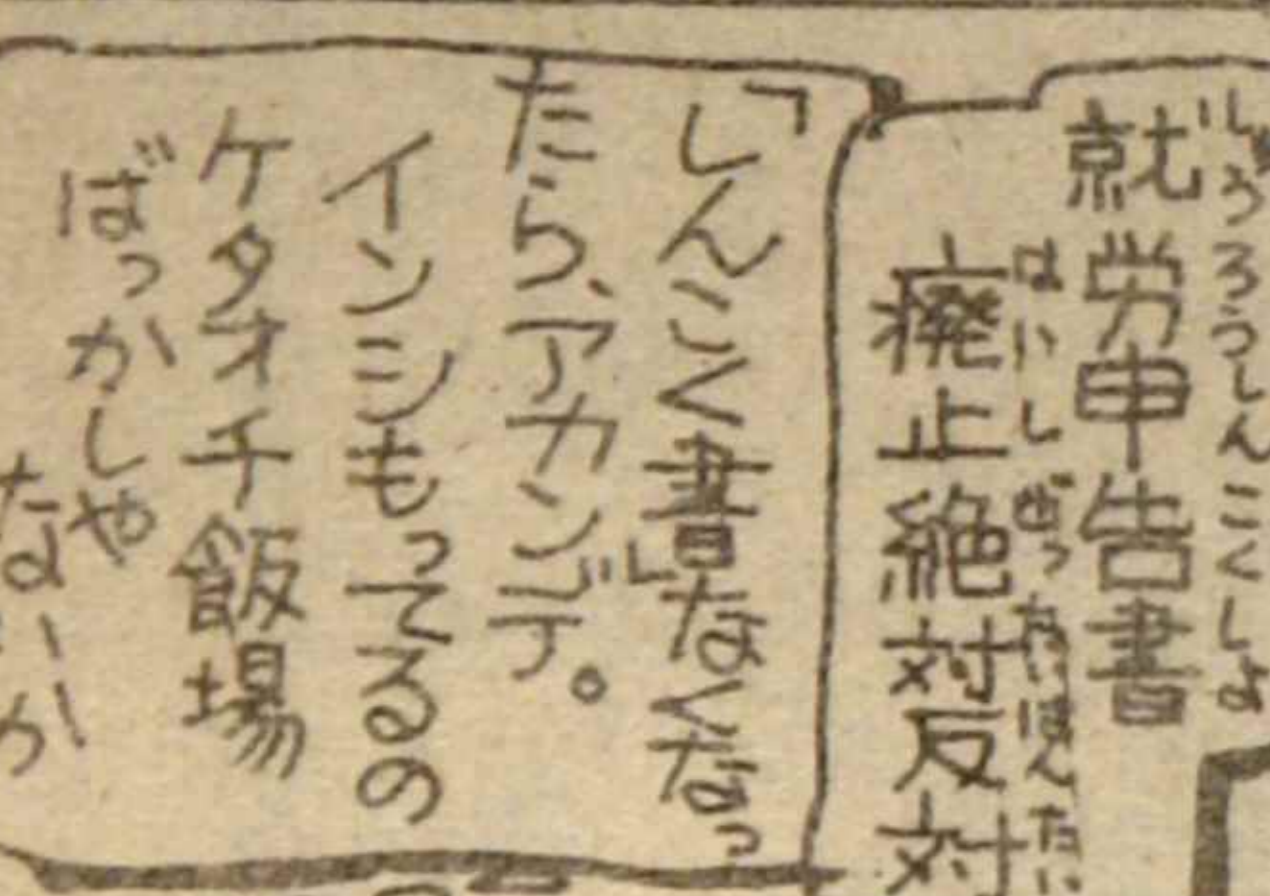
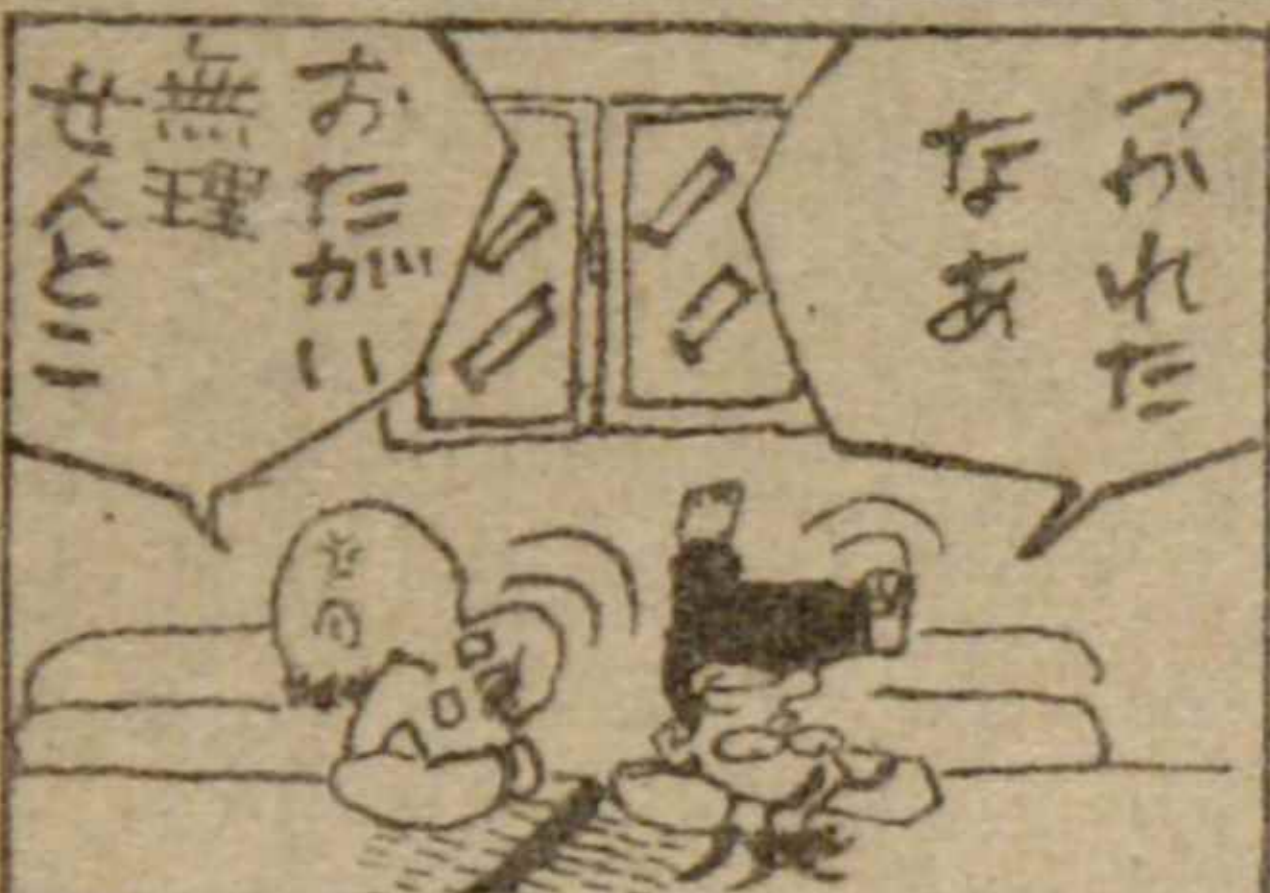
夜間学校デス

釜ヶ崎夜間学校

西成区萩ノ茶屋2-18-18

喜望の家 貸付

電話 六四七一三九四六
(木曜日夜 7時~9時)



一人のことは一人でやる みんなのことはみんなです

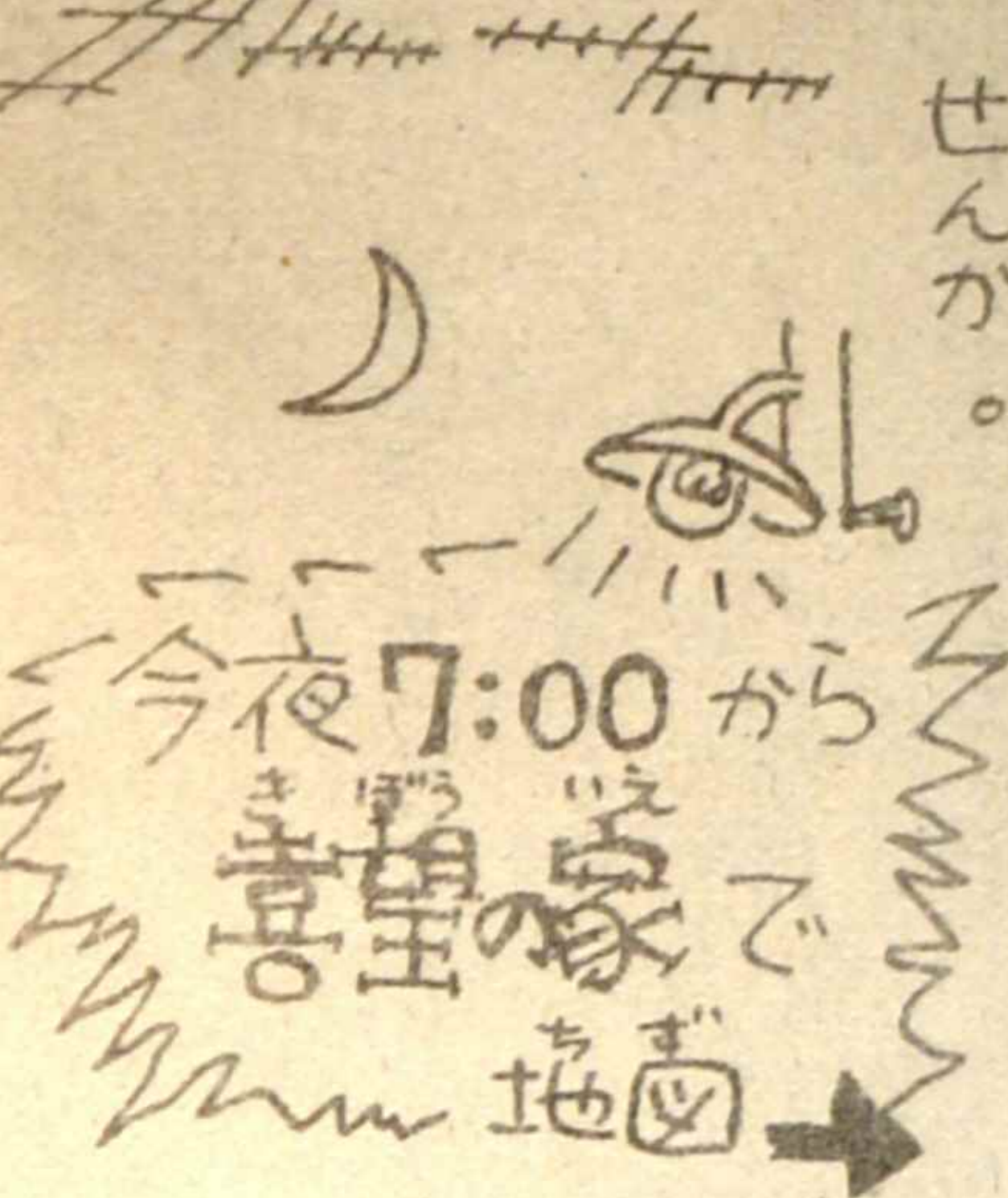
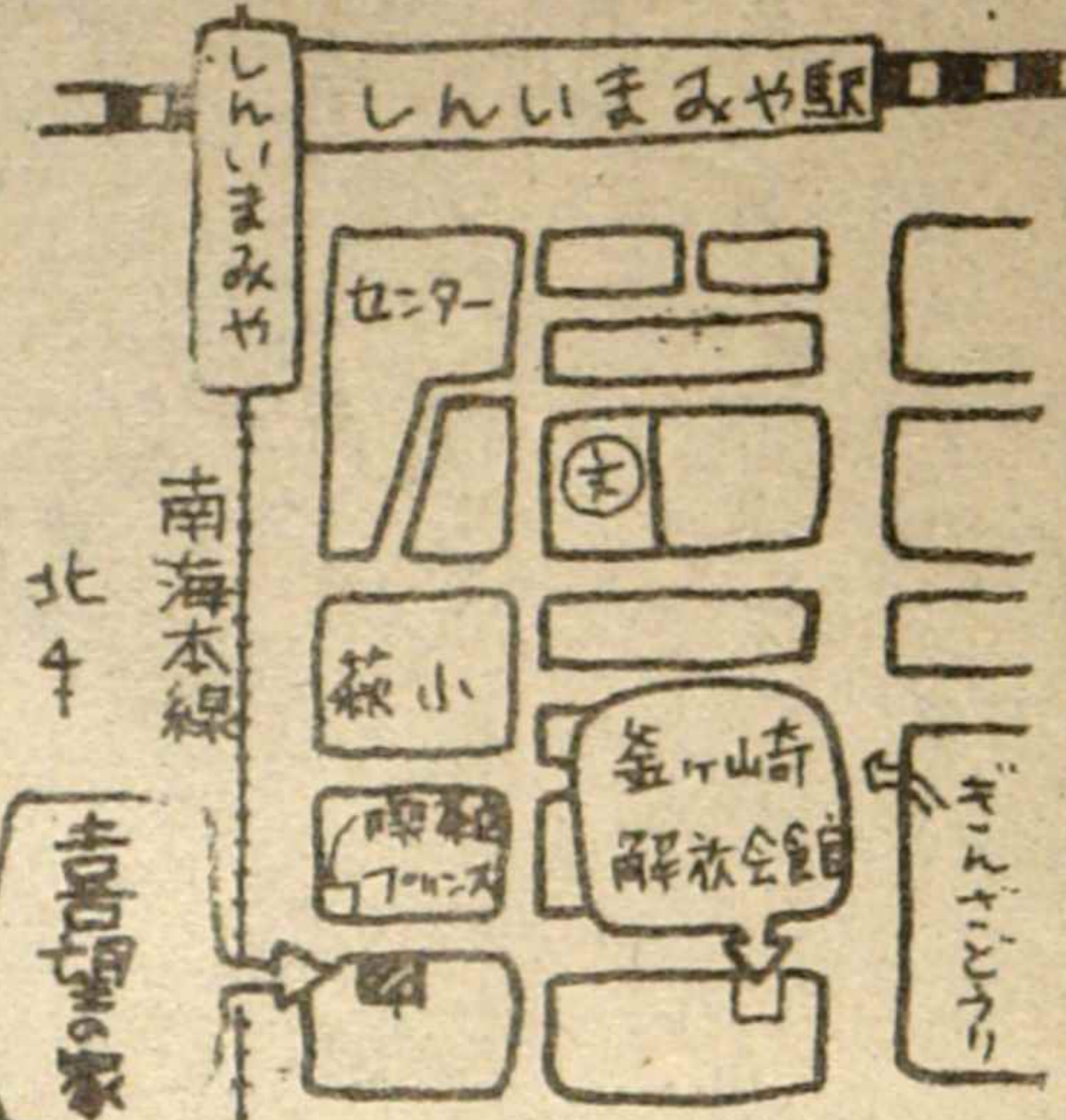
病氣は一人だけの問題か

「日やとい」という、ア
ンコの生活、肉体労働では、
自分のことは自分で、とい
う根性がおつてないと、
アカンしね」
先週の夜間学校で出てき
た話です。

そして、「日やとい」労働者
の生活と、病氣(結核、肝
臓、アルコールの問題)は
となりあわせです。
多くの人が病氣に対する
不安をもって生活している
と思います。

「自分のことは、自分で」
というとき、自分が病氣に
なっても、だれかにたのん
で救急車をよんでもらうこ
とができなくなったり、ひ
とが病氣になったとき、気
になりながら、声をかけず
らいといった、ほかの人と
の関係をズルズルと切って
しまう面もあるのではない
でしょうか。
一人一人が、自分のこと
は自分でやって、その上で
仲間をつくっていくという
ことは、どんなことなんや
ろうか、というのが、今夜
のテーマです。

「病人は、だまっ」とい
とか、「おれにかまわんと
いて」と言いきれない面も
あると思います。
一人一人が、自立、独立
して、「病氣になった人」
と「病氣でない人」とが、
いっしょにつくっていく
関係はないんやろか。
いっしょに、考えてみま
せんか。



【二期オセ七回報告】

知り合いが病気に なった時

あなたは どうする！

ドヤで隣に寝ている人が、苦しそうにうなりだした。あなたは どうする。

親しい人や助けてくれという人の場合は、帳場(連絡)したり、救急車を呼んだりする。

その人が助けてほしいのかどうか分かるん場合は近寄り難い。オレの知ってる人なんか病気でもないのに、毎晩うなってるわ。

誰でも助けるわけにいかん。あんまり弱ってるのとお合わんほうかええ。そんなんしと、たら共倒れや。

よく知っている人が慢性病で困っている時は、健康保険を持っていない人には、

健康保険を持っていない人には、

自分の保険を貸してやる。

でも、自分とその人との年齢が離れてたらでええな。

入院する方法を知らん人には、医療センターへ行くとか、組合で相談にのってもらうとかの方法を教えてやる。

「わし、えろう苦しいなって、一〇九番に電話したんやけど、

そんだけ声が出せんのや、たら大和(病院)まで歩いて行けて

言われてしもた。「そんな時は、〇〇さんがXXで倒れてると電話しておいて、XXで自分が

横にな、て救急車を待つんや。」

何回か金かして、深酒せんよう

に注意してや、ても、会うたひ

にま、黒に汚れて、酒のにおい

【病人への対応】

病人の発見

ほっておく

何かする

その理由は

共倒れになってしまうのがこわい。何をしてもムダ。穴のあいたバケツに水。相手が助けてほしいかどうか分かる。無関心。

システムで

- 救急車を呼ぶ。
- 応急処置をする。
- 病院を捜す。
- 入院の手続きを手伝う。
- 見舞いをする。

個人で

- 救急車を呼ぶ。
- 病院でみてもらう方法を教える。
- 健康保険を貸す。



「Yさんは、釜に来た年の越冬、南争の期間に病気に なった。組合の医療班の助けを受けて、入院した。」

仲間が助け合うシステム (組合の医療班のようなしくみ) で対応するのはどうか。

「親しい人でも、ひとりではめんどうみきれん。こっちもそれほど余裕がない。」

その後、組合の人が交替でYさんを見舞いに行き、Yさんは全快した。現在、Yさんは夜間学校に参加したり、友人の見舞いを受けたりして、仲間の労働者のために活躍中。

「苦しんでいる仲間を見て、共倒れを恐れて何もできんのは情ない。みんなが協力して何とかしよやないか。オレは元気や。自分のことは自分でや、たらええねん」といっている人でも、病気に な、たら組合に泣きつきに行くことようあるやないか。」と Sさんは言う。